

2

保健福祉

助け合い、支え合う。一生涯幸せなまちへ



事業費計 2,723,828 千円

066 ひとり親家庭等医療費助成事業

3,869千円 (前年度 3,365千円)

《住民課子育て定住移住支援室》

ひとり親家庭の父母及び児童（18歳到達年度まで）や父母のない児童の健康保持と福祉の増進を図るため、**医療費の給付及び医療費の助成**を行います。

●主な経費

医療費扶助費	3,847千円
その他の経費	22千円

●財源

県補助金	1,923千円
町の負担額	1,946千円

069 子ども医療費助成事業

12,806千円 (前年度 10,579千円)

《住民課子育て定住移住支援室》

町内に住所を有する小学生、中学生、高校生（18歳まで）の**医療費助成**を行います（乳幼児医療費給付事業、ひとり親家庭等医療費給付事業を優先適用）。

●主な経費

医療費助成金	12,200千円
審査事務委託料	491千円
その他の経費	115千円

●財源

うち借入金（地方債）	12,000千円
町の負担額	806千円

067 未熟児養育医療給付事業

202千円 (前年度 202千円)

《住民課子育て定住移住支援室》

赤ちゃんが未熟児として生まれた場合に必要となる特別な医療費や必要な医療機関への移送費を助成します。

●主な経費

医療費の助成	200千円
その他の経費	2千円

●財源

国負担金	100千円
県負担金	50千円
町の負担額	52千円

070 乳幼児医療費給付事業

3,889千円 (前年度 4,044千円)

《住民課子育て定住移住支援室》

乳幼児の保健及び出生育児環境の向上を図るため、0歳児から就学前の**乳幼児の医療費助成**を行います。

●主な経費

医療費助成金	3,845千円
その他の経費	44千円

●財源

県補助金	1,922千円
町の負担額	1,967千円

068 特定不妊治療助成事業

450千円 新規事業

《住民課子育て定住移住支援室》

青森県不妊治療費助成事業の認定を受けた、田子町に住む夫婦を対象者に、県の助成額に上乗せし、1回目最大15万円、2回目から最大7万5千円を助成します。なお、通算助成回数は県と同様となります。

●主な経費

治療費助成	450千円
-------	-------

●財源

町の負担額	450千円
-------	-------



乳児医療費助成

071 保育料軽減事業

5,896千円 (前年度 9,000千円)

《住民課子育て定住移住支援室》

0歳から2歳児クラスまでの町内在住園児の保育料の3分の1、3歳から5歳児クラスの副食費及び主食費の3分の1を助成します。

●主な経費

保育料軽減助成金 5,896千円

●財源

うち借入金(地方債) 5,100千円
町の負担額 796千円



072 教育・保育給付費等事業

158,700千円 (前年度 151,920千円)

《住民課子育て定住移住支援室》

町内民間保育園(田子・上郷)や町外保育園等での保育に要する経費を、保育園に対し給付費として支払います。

●主な経費

教育・保育給付費等 158,700千円

●財源

保育利用料 18,081千円
国・県負担金 108,485千円
町の負担額 32,134千円



073 保育園延長保育・一時預かり事業

6,714千円 (前年度 6,648千円)

《住民課子育て定住移住支援室》

町内の保育園(田子・上郷)が行う延長保育について、委託事業として行います。また、田子保育園等での一時預かり保育と、田子保育園での病後児保育実施に補助を行います。

●主な経費

国基準委託料 6,714千円

●財源

国補助金 1,735千円
県補助金 1,735千円
町の負担額 3,244千円

074 上郷保育園改修事業

11,270千円 (前年度 3,486千円)

《住民課子育て定住移住支援室》

施設の老朽化に伴う、屋根の塗装や屋内外の改修を行います。

●主な経費

設計管理委託料 929千円
工事請負費 10,341千円

●財源

公共施設整備基金 11,200千円
町の負担額 70千円



改修する上郷保育園

2 保健福祉

075 小児健康診査事業

1,219千円（前年度 1,225千円）

《地域包括支援課健康増進グループ》

乳児健診（4・7・12ヵ月児）、こども健診（1歳6ヵ月児・3歳児）、4歳児健康相談、ことばの教室（3・4歳児）、股関節脱臼検診（3ヵ月児）、耳鼻科検診（3歳児）、尿検査（3歳児）、歯科保健事業を行います。

●主な経費

健康診断の委託料	543千円
医師や講師への謝礼	440千円
その他の経費	236千円

●財源

町の負担額	1,219千円
-------	---------

077 予防接種事業

6,771千円（前年度 8,051千円）

《地域包括支援課健康増進グループ》

予防接種法に基づく一類定期接種として、伝染の恐れのある疾病の発症および蔓延を防止するため、四種混合、ヒブ、肺炎球菌、B型肝炎、麻疹・風疹、日本脳炎、水痘、二種混合、子宮頸がんなどの予防接種を実施します。

●主な経費

各種予防接種の委託料	6,686千円
その他の経費	85千円

●財源

県からの補助金	21千円
町の負担額	6,750千円

076 若年生活習慣病予防事業

1,742千円（前年度 1,723千円）

《地域包括支援課健康増進グループ》

町内の学校に通う小学6年生から高校2年生までを対象に血液検査を行い、その人に合った個別指導を継続的にを行います。骨密度の測定や糖尿病にならないための指導や、ピロリ菌除菌費用への助成も行います。

●主な経費

児童生徒健康診断の委託料	1,174千円
ピロリ菌治療等助成金	300千円
その他の経費	268千円

●財源

町の負担額	1,742千円
-------	---------

078 健全母性育成事業

177千円（前年度 177千円）

《地域包括支援課健康増進グループ》

心と体の変化について正しい知識を身につけるための思春期教室や、命の尊さを育む赤ちゃんふれあい体験学習を行います。また、幼児が食べものを選ぶ力や自分の体を大切にできる力を育むことを目的とした、健康づくり教室も行います。

●主な経費

講師への謝礼	105千円
その他の経費	72千円

●財源

町の負担額	177千円
-------	-------

079 民生・児童委員関係事業

1,571千円（前年度 1,564千円）

《地域包括支援課包括ケアグループ》

「民生委員・児童委員」は、厚生労働大臣から委嘱された非常勤の地方公務員で、地区ごとに担当委員が配置されています。地域住民の立場から、生活や福祉全般、子育てや虐待などの悩みごとの相談にのったり、役場や社協等へつなぎ、支援の橋渡し役をしています。

●主な経費

民生委員児童委員の活動費	1,089千円
協議会への活動補助金	450千円
その他の経費	32千円

●財源

県からの補助金	1,174千円
町の負担額	397千円



080 児童手当支給事業

54,855千円 (前年度 56,085千円)

《住民課子育て定住移住支援室》

国の制度に基づき、中学校卒業までの児童を養育する人に、児童手当を支給します。

●主な経費

児童手当	54,855千円
------	----------

●財源

国負担金	37,941千円
県負担金	8,456千円
町の負担額	8,458千円

083 チャイルドシート貸付事業

100千円 新規事業

《住民課子育て定住移住支援室》

不必要になったチャイルドシートを、必要とする方との仲介を行い、保護者の経済的負担を軽減します。

●主な経費

その他の経費	100千円
--------	-------

●財源

町の負担額	100千円
-------	-------

081 子育てサロン推進事業

1,341千円 (前年度 1,213千円)

《住民課子育て定住移住支援室》

これから子育てをすることとなる若者、子育て真っ最中の両親、その他養育する祖父母などがいつでも集まり、気軽に語り合える場所の確保とともに、親同士の悩みや情報交換・交流等を行える場(田子すくすく館)を提供します。

●主な経費

運営委託料	1,341千円
-------	---------

●財源

ふるさと納税(基金)	1,100千円
町の負担額	241千円

084 老人クラブ助成事業

816千円 (前年度 866千円)

《住民課福祉給付グループ》

老人クラブ活動の育成のための補助金を交付します。単位老人クラブ11組織、老人クラブ連合会に対しての補助金。

●主な経費

補助金	816千円
-----	-------

●財源

県補助金	543千円
町の負担額	273千円

082 心の健康づくり事業

138千円 (前年度 164千円)

《地域包括支援課健康増進グループ》

町内の小学校3校で、「心が元気になる教室」を行います。また、地域相談員の育成研修会も開催します。

●主な経費

講師への謝礼	70千円
その他の経費	68千円

●財源

県からの補助金	53千円
町の負担額	85千円

085 敬老祝い金

1,058千円 (前年度 745千円)

《住民課福祉給付グループ》

100歳の長寿を祝い、敬愛思想の普及を図るために、**100歳以上を対象に一人100,000円を支給**します。

●主な経費

報償費	1,000千円
消耗品費	58千円

●財源

町の負担額	1,058千円
-------	---------

2 保健福祉

086 学童運営事業

31,684千円（前年度 30,405千円）

《住民課子育て定住移住支援室》

労働等により日中家庭にいない保護者に変わり、小学校の児童を対象に、放課後及び長期休業日等適切な遊びや生活の場を与え、健全な育成を図るため、(社)田子町社会福祉協議会に3箇所の学童保育施設の管理・運営を委託します。

●主な経費

施設管理委託料	1,146千円
運営事業委託料	30,004千円
その他の経費	534千円

●財源

国・県負担金	15,170千円
うち借入金（地方債）	14,800千円
町の負担額	1,714千円



087 健康増進事業

14,935千円（前年度 16,771千円）

《地域包括支援課健康増進グループ》

がん検診（胃、大腸、肺、乳、子宮）、肝炎ウイルスの健康診査、禁煙の啓発活動、保健師による健康教育や健康相談、訪問指導も行います。

●主な経費

健康診断の委託料	10,540千円
その他の経費	4,395千円

●財源

県からの補助金	1,000千円
受診者からの負担金	2,108千円
町の負担額	11,827千円

088 国保保健指導事業（国保会計）

733千円（前年度 796千円）

《地域包括支援課健康増進グループ》

健康診断などで調べた血液検査のデータをわかりやすいグラフで表し、高リスク者の健康状態や今後の病気発症率などについて、個別面談をしながら詳しく説明します。

●主な経費

パソコンソフト年間使用料	273千円
その他の経費	460千円

●財源

県からの補助金	106千円
町の負担額	627千円

089 委託健康診査事業

2,644千円（前年度 2,905千円）

《地域包括支援課健康増進グループ》

妊婦健康診査（14回）および乳児一般健康診査（1ヵ月児）の費用の全額を助成します。里帰り出産する人が県外の病院を利用した場合の経費も助成対象となります。

●主な経費

健康診断の委託料	2,490千円
その他の経費	154千円

●財源

町の負担額	2,644千円
-------	---------

090 特定健康診査事業（国保会計）

10,013千円（前年度 10,355千円）

《地域包括支援課健康増進グループ》

40歳～74歳までの人を対象に、医療保険者に義務づけられている健康診査を行います。

また、元気で長生きする人を増やすため、75歳以上の人にも健康診査を呼びかけます。

●主な経費

特定健診の委託料	9,032千円
その他の経費	981千円

●財源

県からの負担金補助金	2,774千円
受診者からの負担金	3,386千円
町の負担額	3,853千円

091 献血推進事業

216千円（前年度 191千円）

《地域包括支援課健康増進グループ》

献血バスを呼んで町内で年3回行います。うち1回は町文化祭会場で行います。献血できる年齢は、16歳～69歳です。また「献血はひとりでもできるボランティア」とも言われています。

●主な経費

献血した人への記念品	176千円
その他の経費	40千円

●財源

町の負担額	216千円
-------	-------

092 健康宣言推進事業

2,526千円（前年度 1,952千円）

《地域包括支援課健康増進グループ》

健康活動に取り組む町内事業所に健康チェック・健康教室を実施します。血圧計等の健康機器も貸し出します。また、健康宣言をしてイベント時にもらえる健康ポイントは、家族分を合算することや、翌年度に繰り越すこともできます。町民みんなで満点をめざしながら、日々の健康活動に取り組みましょう。

●主な経費

健康ポイント記念品・文化祭等の経費	713千円
-------------------	-------

健康チェック測定機器借上等経費	299千円
その他の経費	1,514千円

●財源

町の負担額	2,526千円
-------	---------



企業の健康チェック

093 田子町保健医療福祉推進協議会

1,182千円（前年度 1,153千円）

《住民課福祉給付グループ》

健康づくりや医療と介護との連携方策等について協議します。また、地域福祉計画、子ども・子育て支援計画及び障害福祉計画等の検証や次期計画の策定等について協議します。

●主な経費

委員報酬	754千円
その他の経費	428千円

●財源

町の負担額	1,182千円
-------	---------

094 インフルエンザ予防接種助成事業

11,083千円（前年度 9,337千円）

《地域包括支援課健康増進グループ》

インフルエンザウイルスによる発病や重症化や流行を防ぐための、ワクチン接種を勧奨します。接種した人には**接種料の一部を助成**します（基本額は、1回3600円、ただし13歳未満に限り2回とも3600円）。対象は全町民です。

●主な経費

接種者への助成金	10,872千円
その他の経費	211千円

●財源

町の負担額	11,083千円
-------	----------

095 大人の風しん予防接種追加対策事業

4,155千円（前年度 0千円）

《地域包括支援課健康増進グループ》

風しんの抗体保有率が特に低い、昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性を対象に、抗体値検査費用を全額助成します。また、抗体値が低い場合に、ワクチン接種も全額助成します。

●主な経費

抗体検査及び予防接種委託料	3,937千円
その他の経費	218千円

●財源

国からの負担金	1,968千円
町の負担額	2,187千円

2 保健福祉

096 後期高齢者医療事業

161,202円（前年度 150,875千円）

《住民課福祉給付グループ》

75歳以上の人（一定の障害のある人は65歳以上）は、それまで加入していた保険を脱退し、後期高齢者医療保険に加入します。

この事業では、町は保険料の徴収及び健康診査を呼びかけるほか、制度の運営主体の青森県後期高齢者医療広域連合へ負担金を支払います。

●主な経費

青森県後期高齢者医療広域連合納付金（保険料）	81,688千円	共通経費負担金	3,861千円
療養給付費負担金（一般会計）	70,321千円	その他の経費	5,332千円

●財源

保険料	54,283千円
県負担金（保険基盤安定負担金）	20,478千円
町の負担額	86,441千円

097 国民健康保険医療給付事業

839,000千円（前年度 862,300千円）

《住民課福祉給付グループ》

国民健康保険に加入している人が病気やけがで診療を受けたとき、医療費の一部を負担します。

国や県、その他団体への各種拠出金等を交付

●主な経費

保険給付費	530,953千円
事業費納付金	225,875千円
その他の経費	82,172千円

●財源

国保税	166,751千円
国・県・その他団体等の負担	574,451千円
町の負担額	97,798千円

098 特定保健指導事業（国保会計）

859千円（前年度 841千円）

《地域包括支援課健康増進グループ》

特定健診の結果から、生活習慣の見直しが必要な人を対象に、3カ月以上続ける改善プログラムを作ります。

冬期間限定ですが、エアロビクスと筋力トレーニングを組み合わせた運動教室を毎週、せせらぎの郷で行います。

●主な経費

体操指導講師への謝礼	144千円
特定保健指導委託料	241千円
その他の経費	474千円

●財源

町の負担額	859千円
-------	-------

099 ほのぼのコミュニティ21推進事業

4,012千円（前年度 3,976千円）

《住民課福祉給付グループ》

高齢者が地域で安心して暮らせるよう、地域の見守り活動を推進するため、地域福祉推進員を設置し、ほのぼのの交流協力員による活動を支援します。

●主な経費

委託料	4,012千円
-----	---------

●財源

町の負担額	4,012千円
-------	---------

100 社会福祉総務費 （田子町福祉協議会助成金）

12,633千円（前年度 13,193千円）

《住民課福祉給付グループ》

田子町社会福祉協議会で実施している地域福祉活動等、公益事業に係る人件費等に係る経費に対して助成します。

●主な経費

助成金	12,633千円
-----	----------

●財源

町の負担額	12,633千円
-------	----------

101 食生活改善事業

579千円（前年度 500千円）

《地域包括支援課健康増進グループ》

町民一人ひとりが毎日の食事についてもっと考え、みんなが健全な食生活を送ることができるよう、乳幼児の食事相談、大人向けの生活習慣病予防栄養教室、食生活改善講習会（調理実習）などを開催します。

料理をする機会の少ない男性を対象に「男性のためのクッキング教室」開催します。

●主な経費

食生活改善推進員会活動費補助金	200千円
各種研修会や実習の経費	244千円
その他の経費	135千円

●財源

町の負担額	579千円
-------	-------

103 高齢者肺炎球菌予防接種助成事業

1,095千円（前年度 1,159千円）

《地域包括支援課健康増進グループ》

高齢者の肺炎予防を目的とし、65歳を初めの歳とし、5歳ごとの人を対象として、ワクチン接種を勧奨します。今まで一度も助成を受けていない接種対象者は、**接種料の一部を助成**します（1人最大5000円）。

●主な経費

接種者への助成金	1,000千円
その他の経費	95千円

●財源

町の負担額	1,095千円
-------	---------

102 社会福祉総務費 (田子町身体障害者福社会補助金)

50千円（前年度 50千円）

《住民課福祉給付グループ》

田子町身体障害者福社会の運営費に対して補助します。

●主な経費

補助金	50千円
-----	------

●財源

町の負担額	50千円
-------	------

104 施設管理費

12,144千円（前年度 16,135円）

《田子診療所》

診療所建物、施設の維持管理にかかる経費です。主に、電気料、修繕料、燃料費を計上しています。

●主な経費

光熱水費	6,867千円
施設修繕費	1,300千円
施設管理委託 等	3,977千円

●財源

診療報酬収入	11,688千円
雑収入他	456千円

105 総務管理費

19,472千円（前年度 19,138千円）

《田子診療所》

診療所窓口業務、診療報酬請求等の医療業務を委託しています。医事システムのリース、施設内のコンピュータの管理を行っております。

●主な経費

医事業務委託料	12,186千円
コンピュータ経費 他	7,286千円

●財源

診療報酬収入	19,472千円
--------	----------



診療所の外からの風景

2 保健福祉

106 診療所諸費

56,689千円（前年度 67,516千円）

《田子診療所》

診療にかかる経費です。医療機器の借り上げ、注射薬や注射器等の医療材料を購入します。

▽受付時間 月曜日～金曜日

午前8:15～11:00

午後1:00～4:00

※受診の際は、医療保険証・診察券をお持ちください。土曜日、日曜日、祝祭日は休診となります。☎32-3171

●主な経費

薬品費・医療材料費	29,766千円
医療機器等保守点検委託料	14,148千円
医療機器等借上料 他	12,775千円

●財源

診療報酬収入	56,491千円
医療材料収入他	198千円

107 専門医派遣事業

12,960千円（前年度 13,050千円）

《田子診療所》

診療応援を受けている専門医の先生方（整形外科、小児科、泌尿器科）の賃金、旅費などの経費です。

▽整形外科：火曜日の午後

▽小児科：水曜日10時から15時

▽泌尿器科：第1・第3木曜日午前

●主な経費

非常勤医師報酬	10,122千円
医師送迎タクシー委託料	2,084千円
非常勤医師費用弁償 他	754千円

●財源

繰入金	12,960千円
-----	----------

108 施設管理費

10,665千円（前年度 10,633千円）

《老健たっこ》

老健建物、施設の維持管理にかかる経費です。主に、電気料、修繕料、燃料費を計上しています。

●主な経費

光熱水費	8,487千円
施設修繕費 他	2,178千円

●財源

介護料収入	10,586千円
雑収入他	79千円

109 老人福祉センター管理費

7,985千円（前年度 5,753千円）

《住民課福祉給付グループ》

高齢者が安全で快適に入浴できるよう、施設の維持管理を行います。利用協力金は100円。

●主な経費

指定管理委託料	5,127千円
冷房設備新設工事	2,200千円
その他施設管理経費	658千円

●財源

公共施設整備基金	2,200千円
町の負担額	5,785千円

110 高齢者ふれあいセンター管理費

1,142千円（前年度 1,136千円）

《住民課福祉給付グループ》

高齢者が安全で快適に入浴できるよう、施設の維持管理を行います。利用協力金は100円。

●主な経費

燃料費	525千円
水道料金	252千円
その他管理経費	365千円

●財源

その他	50千円
町の負担額	1,092千円

111 総務管理費

37,223千円（前年度 60,861千円）

《老健たっこ》

老健の運営費です。主な経費は給食業務委託料、介護員の賃金、医療材料費です。利用者が快適な療養生活ができるようお手伝いしています。利用できる方は、65歳以上で要介護と認定された方、40歳以上65歳未満で要介護と認定された方

▽利用の種類

- ①長期入所：一定期間入所いただき、介護やリハビリテーション、その他必要な日常生活のお世話をすることで、身体能力の維持、向上を図り、ご利用者が家庭や社会に復帰できるよう支援します。
- ②短期入所：介護する方が、病気、出産、旅行、農繁期等でご家庭でのお世話が一時的に困難になったときに利用できます。

※相談にお越しの際は、医療保険証、介護保険証を忘れずにお持ちください。

☎32-3172



老健たっこのホール風景

●主な経費

給食業務委託料	19,932千円
医療材料費 他	17,291千円

●財源

介護料収入	37,219千円
手数料収入 他	4千円

112 訪問看護ステーション費

1,483千円（前年度 1,555千円）

《訪問看護ステーション》

訪問看護ステーションの運営に係る経費です。訪問看護サービスは、介護保険、医療保険で受けることができます。

▽サービス内容

- ①在宅療養のお世話：身体の清拭、洗髪、入浴介助、食事や排せつなどの介助・指導
- ②医師の指示による医療処置：点滴、カテーテル管理、インシュリン注射など
- ③病状の観察：病気や障害の状態、血圧体温脈拍などのチェックをし、異常の早期発見
- ④医療機器をつけた方の療養支援：経管栄養、在宅酸素療法、吸引など医療処置が必要な方の在宅療養を支援
- ⑤床ずれ予防・処置：床ずれ防止の工夫や指導、床ずれの手当
- ⑥ターミナルケア：がん末期や終末期を自宅で過ごせるよう支援

※緊急の場合も24時間対応します。入院中から在宅生活の相談に乗り、自宅へスムーズに退院できるよう支援します。

せせらぎの郷2階 田子町訪問看護ステーションへご相談ください。☎32-3177

●主な経費

医療材料費	60千円
介護給付請求業務委託料 他	1,423千円

●財源

訪問看護収入	1,483千円
--------	---------

2 保健福祉

113 国民年金

464千円（前年度 491千円）

《住民課福祉給付グループ》

国民年金はすべての国民が加入する制度です。年金制度は3つのグループに分かれ、それぞれ加入手続きや保険料の納付方法が違います（下表参照）。

町では、自営業者や農業者などの加入や異動の届け出、免除申請の受付、支給開始請求の提出などの事務を行っています。また日本年金機構では、みなさんからの質問にお答えする「年金ダイヤル（☎0570-05-1165）」を開設しています。今年度の国民年金の保険料は、月額1万6,490円です。

▽各年金制度の対象・手続き先

	対象者	手続き先	保険料の納付方法
第1号被保険者	学生、自営業者など	市区町村役場	自分で納付
第2号被保険者	会社員、公務員など	勤務先	勤務先で納付
第3号被保険者	第2号被保険者の被扶養配偶者	配偶者の勤務先	なし（配偶者の加入制度が負担）

※この仕事に必要な人件費などの費用は国から交付されます。

●主な経費

消耗品費	230千円
その他の経費	234千円

●財源

国庫委託金	464千円
-------	-------

114 福祉有償運送事業助成金

100千円（前年度 100千円）

《住民課福祉給付グループ》

公共交通機関の利用に不便をきたしている高齢者や障害者で町外医療機関の間での転院による移動を支援します。

●主な経費

助成金	100千円
-----	-------

●財源

町の負担額	100千円
-------	-------

115 高齢者生活支援事業 (福祉有償運送事業)

1,876千円（前年度 1,876千円）

《住民課福祉給付グループ》

公共交通機関の利用に不便をきたしている高齢者や障害者を対象に町内を発着として福祉施設や病院等への移動を支援します。

●主な経費

補助金	1,876千円
-----	---------

●財源

過疎地域自立促進特別事業債	1,800千円
町の負担額	76千円

116 敬老会開催事業

4,123千円（前年度 4,091千円）

《住民課福祉給付グループ》

本町の発展にご尽力いただいている75歳以上の方々に対して、長寿を祝福するとともに永年のご苦労に感謝するため開催します。

●主な経費

記念品購入費	632千円
食料費	1,920千円
その他運営費等	1,571千円

●財源

ふるさと納税（基金）	3,600千円
その他	10千円
町の負担額	513千円

117 介護予防・日常生活支援総合事業

7,650千円 (前年度 7,600千円)

《地域包括支援課包括ケアグループ》

●第1号訪問・通所・介護予防支援事業

2,980千円

要支援者及び基本チェックリスト該当者の方が、訪問介護と通所介護を利用できます。また、すべての65歳以上の人が参加できる介護予防の取り組みも行われます。



●主な経費

通所介護事業者への給付費	1,903千円
訪問介護事業者への給付費	650千円
その他の経費	427千円

●財源

国の負担額	675千円
県の負担額	338千円
町の負担額	1,967千円

●第1号生活支援事業

3,170千円

町内全ての集落の高齢者等を対象に、安価で栄養バランスの取れた温かい「昼食」を、見守りを兼ねてご自宅にお届けします。本人負担額は1食500円です。



●主な経費

配食サービス委託料	3,170千円
-----------	---------

●財源

国の負担額	899千円
県の負担額	449千円
町の負担額	1,822千円

●地域介護予防活動支援事業・サロン活動に対する補助金

1,500千円

要介護状態への進行予防、地域活動を通じた役割や生きがいづくり、社会的孤立感の解消、地域での支え合いを推進するため、サロン活動経費に補助します。住み慣れた地域で安心して暮らせるための活動を応援します。



●主な経費

サロン団体への補助金	1,500千円
------------	---------

●財源

国の負担額	400千円
県の負担額	250千円
町の負担額	850千円

118 戦没者追悼式開催事業

474千円 (前年度 335千円)

《住民課住民環境グループ》

戦没者慰霊祭を毎年8月17日に宗教を伴わない献花による追悼式として行っています。

●主な経費

追悼式開催委託料	313千円
その他の経費	161千円

●財源

県の負担額	20千円
町の負担額	454千円

119 介護認定事業（介護保険会計）

5,007千円（前年度 4,697千円）

《地域包括支援課介護支援グループ》

介護サービスを利用するためには、要介護認定を受けなければなりません。町が申請者の認定調査を行い、その調査結果と主治医意見書により、八戸市の介護認定審査会において認定を行うものです。



●主な経費

主治医意見書作成の手数料	1,584千円
介護認定審査会を開催する負担金	2,428千円
その他の経費	995千円

●財源

町の負担額	5,007千円
-------	---------

120 介護サービス給付事業（介護保険会計）

926,391千円（前年度 925,825千円）

《地域包括支援課介護支援グループ》

介護サービスを利用した場合、利用者には基本的に1割負担していただきますが、残りの9割分について国、県、町、保険料で負担し介護保険事業所に費用を支払うものです。



●主な経費

居宅サービス給付費	349,200千円
地域密着型介護サービス給付費	185,000千円
施設介護サービス給付費	268,000千円

●財源

国の負担額	241,127千円
県の負担額	134,563千円
保険料	164,805千円
支払基金	262,335千円
町の負担額	119,548千円

121 地域包括支援センター運営事業

3,149千円（前年度 5,240千円）

《地域包括支援課包括ケアグループ》

全ての年代の方が抱えている様々な問題を解決するため、「悩みごと・心配ごと」の相談窓口を設置しています。専門外の相談は、関係先（社協・医療機関・介護施設・法律系専門職等）につなぎ、改善の方向性を見出せるよう努めています。

●主な経費

成年後見人（弁護士等）への扶助費	1,080千円
総合相談業務事務経費	306千円
その他の経費	1,763千円

●財源

国の負担額	1,324千円
県の負担額	242千円
町の負担額	1,583千円



122 家族介護支援事業

1,800千円（前年度 1,700千円）

《地域包括支援課包括ケアグループ》

在宅介護をしているご家族の慰労と経済的負担軽減のため、要介護高齢者の在宅での生活を支援します。**1人あたり月3,000円を支給**します。



●主な経費

家族介護者への支援金	1,800千円
------------	---------

●財源

国の負担額	69千円
県の負担額	34千円
町の負担額	1,697千円

123 居住サービス運営費

3,038千円（前年度 3,079千円）

《地域包括支援課介護支援グループ》

冬期間など、自宅での生活が困難になる高齢者に対し、一時的に居室を提供し、安心して生活できるよう支援します。

※12部屋

●主な経費

居住サービス委託料	2,738千円
居室の備品購入	300千円

●財源

利用料	522千円
町の負担額	2,516千円



125 介護職員資格取得支援事業

1,764千円（前年度 1,760千円）

《地域包括支援課介護支援グループ》

町内に住所を有する16歳から60歳までの方に、資格（介護職員初任者研修）の取得を支援するものです。

●主な経費

介護職員資格取得講義委託料	1,350千円
研修で使う消耗品等	60千円
その他の経費	354千円

●財源

町の負担額	1,764千円
-------	---------



124 障害者(児)補装具費支給事業

3,001千円（前年度 3,001千円）

《住民課福祉給付グループ》

身体障害者(児)の失われた部位、障害のある部分を補うため補装具費や修理費を交付します。

●主な経費

身体障害者(児)補装具費負担金	3,000千円
償還金	1千円

●財源

国庫負担金	1,500千円
県負担金	750千円
町の負担額	751千円

126 障害者地域生活支援事業

4,327千円（前年度 4,464千円）

《住民課福祉給付グループ》

障害者(児)の保護者等からの相談、必要な情報の提供等を行う地域支援事業、手話通訳者の派遣事業、日常生活用具の給付、障害者等の移動支援、障害者職親委託事業を行います。

●主な経費

扶助費	2,580千円
委託料	1,503千円
その他の経費	244千円

●財源

国庫補助金	2,041千円
県補助金	1,020千円
町の負担額	1,266千円

2 保健福祉

127 重度心身障害者医療費助成事業

9,101千円（前年度 12,090千円）

《住民課福祉給付グループ》

重度心身障害者の健康を保持するため、その医療費の一部を助成することにより自己負担の軽減並びにその療育の推進により福祉の増進を図ります。

●主な経費

重度医療費助成金	9,000千円
その他の経費	101千円

●財源

県補助金	4,500千円
町の負担額	4,601千円

129 障害者自立支援給付事業

212,305千円（前年度 202,092千円）

《住民課福祉給付グループ》

障害者自立支援に基づき、身体・知的・精神障害者に対し介護給付、訓練等給付、施設支援サービスを提供し、その費用について支援します。

●主な経費

障害児通所給付費	209,520千円
障害者（児）計画相談支援	2,500千円
その他の経費	285千円

●財源

国庫負担金	106,010千円
県負担金	52,825千円
町の負担額	53,470千円

128 障害者自立支援医療費支給事業

7,310千円（前年度 7,915千円）

《住民課福祉給付グループ》

身体障害者（児）に対して、医療費を給付することによりその障害を除去または日常生活能力・職業能力を回復し獲得させることを目的として医療給付を行います。

●主な経費

更生医療費	7,200千円
育成医療費	100千円
その他の経費	10千円

●財源

国庫負担金	3,650千円
県負担金	1,825千円
町の負担額	1,835千円

